



ココロをつなぐ、あしたへはこぶ。

[よくあるご質問](#) [お問い合わせ](#)

Select Language ▼

[HOME](#) [名鉄のオススメ](#) [名鉄資料館](#) [特別展示室](#) [廃止から10年・北アルプス号](#)

## 名鉄資料館

[📍 わたしの名鉄駅](#)出発駅 到着駅 

2020年12月22日

10時00分

 出発  到着 始発  終電[🔍 検索](#)[ご利用上の注意](#)[▶ 詳細検索はこちら](#)

## 名鉄のオススメ

[電車沿線ハイキング](#)[歩いて巡拝（まいる）知多四国](#)[名鉄資料館](#)

## 廃止から10年・北アルプス号（平成23年 秋季特別展）

開催期間：2011.10.3～2011.11.30

名鉄の高山線乗入れは、名鉄電車を高山線の客車列車に併結する形で、戦前に開始されましたが、戦局の悪化により中断されました。

昭和40（1965）年にキハ8000系気動車による「準急・たかやま」号で再開され、翌年「急行・たかやま」号に昇格、昭和45年には乗り入れ区間を立山まで延長して「急行・北アルプス」号に名称変更、昭和51年には「特急・北アルプス」に昇格しました。

平成3年に乗り入れ車両を新鋭のキハ8500系に置き換えました。平成13年に「特急・北アルプス」号は廃止されました。今年で「北アルプス」号廃止から10年になりますので、資料館保管のヘッドマーク等の資料と共に写真を展示いたします。

[名鉄の高山線直列列車のあゆみ](#)

2011（平成23）年10月3日～11月30日に名鉄資料館で開催した「廃止から10年・北アルプス号」の中から展示資料の一部を御紹介いたします。



特別展の会場（特別展示室）

手前の看板は、2001（平成13）年9月30日の「北アルプス」号さよなら運転でキハ8500系に掲出したヘッドマーク。

右奥の楕円形の看板は、会津鉄道に譲渡後の8500系が取付けていた「AIZU MOUNT EXPRESS」のヘッドマーク。



高山線直通の、「たかやま」号、「北アルプス」号のポスター

ガラスケースの中には、高山線直通列車が記載された戦前の時刻表を展示

キハ8000系ブルーリボン賞受賞記念盾と、ヘッドマーク・サボ。





準急「たかやま」  
1965（昭和40）.8.5～1966（昭和41）.3.4  
キハ8000系によるデラックス準急としてデビュー  
（当時は急行列車でも非冷房の時代に、冷房付きで登場）  
急行「たかやま」  
1966（昭和41）.3.5～1970（昭和45）.7.14  
1966.3.5のダイヤ改正で急行に昇格



急行「北アルプス」  
1970（昭和45）.7.15～1976（昭和51）.9.30  
1970.7.15のダイヤ改正で「北アルプス」に愛称変更。富山地鉄の立山へ直通運転開始  
特急「北アルプス」（文字板）  
1976（昭和51）.10.1～1980（昭和55）.7.14  
1976.10.1のダイヤ改正で特急に昇格



特急「北アルプス」（イラスト板）  
1980（昭和55）.7.15～1991（平3）.3.15  
立山直通10周年、イラスト付きヘッドマークに特急「北アルプス」（8500系）  
1991（平3）.3.16～2001（平13）.9.30  
1991.3.16新鋭のキハ8500系に置き換えて運転開始。2001.9.30限りで「北アルプス」号は廃止に



北アルプス号の乗務員が携帯していたカバンと、その中の業務用品



下呂に到着した直通電車755・756号1932（昭和7）年10月  
  
昭和7年10月8日から、土・日・祭日に柳橋～下呂の直通電車を運転を開始した。当時の最新型電車755・756号が、柳橋から押切町を経て鶴沼までを自力で走り、鶴沼からは高山線の客車列車に併結され、蒸気機関車に牽引されて下呂まで直通した。なお、755号は1928（昭和3）～2001（平成13）年まで現役で活躍し、奇しくも名鉄の高山線乗り入れ廃止と同じ日に引退し、現在は旧谷汲駅に保存されている。（755号の最後の働き場所・谷汲線の廃止と北アルプス号の廃止が同日）



下呂直通電車の車内  
1932（昭和7）年10月  
  
下呂直通電車750形755・756号の車内は、半室が畳敷きに改造されたお座敷電車であった。



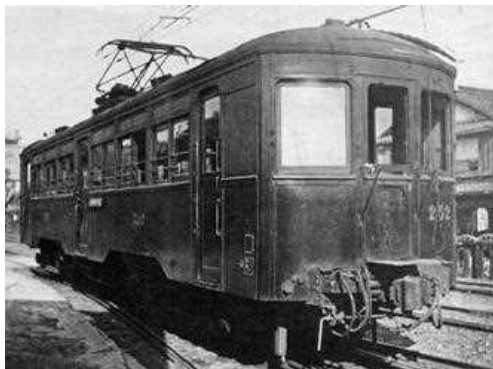
名岐鉄道・柳橋駅

1933～1935（昭和8～10）年頃・春

名岐鉄道のターミナル、柳橋駅に掲出された下呂温泉の大きな広告看板

「豊敷御座敷電車毎土日祭日運転下呂温泉まで僅か2時間割引往復2円80銭」

と書いてあるのが読み取れる。

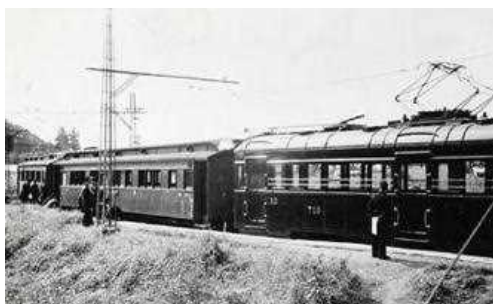


下呂直通電車250形252号・押切町

1933～1935（昭和8～10）年頃

1933（昭和8）年から直通電車250形251・252号に変更された。

1925（大正14）年に名鉄は尾西鉄道を合併。その尾西鉄道が1923年に製造した200形は乗り心地に定評があった。そこで201・202号を、下呂直通用に、正面貫通扉新設、運転台移設、便所新設、車内畳敷などの改造をして250形とした。



富山直通客車試運転・鶴沼

1940（昭和15）.10.1

1940（昭和15）年10月10日から、名鉄の高山線乗り入れは押切町～富山と変更になった。国鉄（当時は鉄道省）の客車を借り、押切町～鶴沼間は名鉄700形電車2両が客車2両を牽引し、その客車2両が高山線の客車列車に併結され、富山まで毎日1往復直通した。

写真は、その試運転の様様。



富山直通営業初列車・鶴沼

1940（昭和15）.10.10

鶴沼で、高山線に乗り入れた営業初列車。この客車2両が鶴沼から蒸気機関車に牽引され、毎日富山まで往復した。



「富山ゆき直通列車のりば」の看板

押切町駅

1941（昭和16）年夏

看板の下文字を拡大してみると

「毎日 押切町駅発 午前9時06分発

富山駅発 午前11時45分発」

横には「新名古屋駅地下乗入」の看板もある。

1941（昭和16）年8月12日に、枇杷島橋～新名古屋の新線が開通し、富山直通列車は新たに開業した新名古屋駅から出るようになった。（押切町駅は廃止）

しかし、その年の年末から戦争が始まり、その戦況

悪化により、1943（昭和18）年頃に乗り入れは中止された。



準急「たかやま」号が運転開始  
新名古屋駅  
1965（昭和40）.8.5

新造したキハ8000系気動車により、高山線乗り入れが1965（昭和40）年に復活した。  
デラックス準急「たかやま」号で、新名古屋8:55発、高山12:16着であった。途中の停車駅は、岩倉・鶴沼・美濃太田・白川口・下呂・飛騨小坂。



ブルーリボン賞受賞記念列車  
岩倉駅  
1966（昭和41）.7.26

華々しくデビューした準急「たかやま」号は、翌年の昭和41年に急行に昇格し、その年にキハ8000系気動車はブルーリボン賞を受賞した。



急行「北アルプス」号に改称  
富山地方鉄道立山駅へ乗り入れ開始  
立山駅  
1970（昭和45）.7.15  
（富山地方鉄道提供）

1970（昭和45）年7月15日からは、直通区間を延長。高山線の終点・富山から富山地方鉄道に乗り入れ、立山駅まで直通するようになった。  
写真はその記念列車で、新名古屋駅長から立山駅長宛に記念品が贈呈された。



急行「北アルプス」号、犬山駅に停車  
犬山駅  
1972（昭和47）.9.28

鶴沼での折り返し運転を廃止し、鶴沼通過、犬山停車に変更した。  
（上り列車は9/27、下り列車は9/28より）  
これが縁で、犬山市と立山町が姉妹都市提携を結んだ。

特急に昇格した「北アルプス」号  
高山線飛騨金山～焼石  
1976（昭和51）.10.1  
（服部重敬氏撮影）

1976（昭和51）年10月1日から、「北アルプス」号特急化された。



特急化に先立ち、先頭部を国鉄特急 気動車に準じた塗り分けに変更した。



高山線を走る「北アルプス」号  
高山線飛騨金山～焼石  
1983（昭和 58）年  
（服部重敬氏撮影）

飛騨川のダム湖畔を走る、キハ8000系の特急「北アルプス」



新鋭「キハ8500系」  
日車・豊川  
1991（平成3）年1月

高山線のJR特急「ひだ」が1989年に、高性能のキハ85系に置き換えられた。  
名鉄も同一性能のキハ8500系を「北アルプス」用として1991（平成3）年に日本車両で新造した。



キハ8500系特急「北アルプス」発車式  
新名古屋駅  
1991（平成3）.3.16

平成3年3月16日のダイヤ改正から、キハ8500系を投入した。  
新名古屋駅で、盛大に発車式が行われた。



高山線を走る「北アルプス」号  
高山線白川～下油井  
1991（平成 3）年

飛騨川の鉄橋を渡る、キハ8500系の特急「北アルプス」



さよなら「北アルプス号」

犬山橋

2001（平成13）.9.30

（鵜飼功一氏撮影）

2001（平成13）年9月30日限りで、北アルプス号は廃止になった。

最終日の「北アルプス」号。

戦前から始まった、名鉄の高山線直通列車の歴史は、これで終了した。



北アルプス号の最終日2001（平成13）年9月30日は、名鉄谷汲線、揖斐線（黒野～本掛斐）、竹鼻線（江吉良～大須）、八百津線の営業最終日でもあった。

「廃止から10年・北アルプス号」の展示に合わせ、揖斐・谷汲線の写真も展示した。

（写真提供：寺澤秀樹氏・鵜飼功一氏）

[名鉄の高山線直列列車のあゆみ](#)

[名鉄資料館で開催した特別展一覧へもどる](#)